



訓子府町議会
議長 原 豊茂

明けましておめでとうございます。日ごろから町政、議会に対するご理解とご支援に対し深く感謝申し上げます。昨年は、平成29年度から平成30年度までの第6次訓子府町総合計画がスタートしました。『ちよつといいね!』がたくさんあるまちくねつづを、本町の10年後の将来像として位置づけ、さまざまな施策が始動しています。

今年は、新スポーツセンターが着工されます。今後、大型の投資的事業をはじめ、町民の皆さんが安全で安心して住み続けられるように各種施策が展開される予定です。

議会としては、その責務・役割を果たすため、行政とともに知恵を絞りながら、新たなまちづくりをめざしています。また、議会としての憲法となる「議会基本条例」を今年制定する予定です。条例の究極の目的は「訓子府町の持続的で豊かなまちづくり」です。そのためには、まず町民の皆さんの意見や声を聴く場をこれまでに確保すること、そして皆さんにとつてより身近な、より開かれた議会となることです。皆さんのさまざまな声を聴き、議員自らも学習することで能力向上を

図り、皆さんの声を反映した政策の提案をすることで、皆さんとともにまちづくりをしていくための議会の基本事項を定めたのがこの条例です。さらに条例の制定がゴールではなく、条例を實踐し、議会改革をより一層前進させていかなければなりません。今後も「開かれた議会」「町民と共に歩む議会」をめざしていきます。

今後とも、議会に対し皆さんのより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



今年の主役は

平成 18 年生まれ

訓子府の未来を担う子どもたち



下田 陽輝くん
(訓小5年)

今年の思い出は、野球の大会で2回優勝できたことです。今年は、投球のコントロールを良くすることが目標です。またヒットを打って、チームに貢献したいです。



仁木 美佑さん
(訓小5年)

昨年は、8月に行われた吹奏楽コンクールで金賞を獲得することが思い出に残っています。今年は、リコーダーで全国大会まで行って、花村賞を獲得することを目標にがんばります。



濱野 慎悟くん
(訓小5年)

昨年は、水泳の大会で大会新記録を出せたことがうれしくて、印象に残っています。今年は、水泳で2級、そろばんで1級に受かることを目標にがんばります。



石井 仁くん
(訓小5年)

昨年の思い出は、剣道の大会で3回戦まで行って「がんばった」と言ってもらえたことです。今年は、剣道や野球、勉強などいろいろがんばりたいです。



平岩 優さん
(訓小5年)

昨年の思い出は、宿泊学習で同じ部屋の友だちと仲良く遊んだことです。今年は、スクールバンドで全国大会に行けるようにチームで協力してがんばります。

私たち



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。今年は「成年」です。未来を担う子どもたちの中で成年生まれの方を紹介します。

目標に向かい がんばるぞ!!



稲熊 雫さん
(訓小5年)

昨年の思い出は、宿泊学習で普段できない体験や勾玉作りをしたことです。今年は、6年生になるので、1年生のお世話を優しくできるようにになりたいです。



遠藤 深桜さん
(訓小5年)

昨年は、宿泊学習で力ヌーに乗ったことや友だちと力レー作りをしたことが印象に残っています。今年は、国語や算数などの勉強をがんばりたいです。



上之内 将成くん
(訓小5年)

昨年の思い出は、宿泊学習でウオークラリーや勾玉作りをしたことです。今年は、6年生になるので、下級生の手本になれるようにがんばりたいと思っています。



手塚 響規くん
(居小5年)

昨年の思い出は、養蜂学習でミツバチを飼うという貴重な体験ができたことです。今年は、陸上の砲丸投げで7m投げられるように練習をがんばりたいです。



砥石 千優さん
(訓小5年)

昨年の思い出は、宿泊学習でウオークラリーや勾玉作りをしたことです。今年は、スクールバンドの大会で全国大会に行けるようにがんばります。

すべての町民にやさしいまちづくり



訓子府町長
菊池 一春

明けましておめでとうございます。昨年は、喫緊の課題でありました、スポーツセンターの取り壊しと建て替えに着手。民間の力をお借りしながら、幅広い年齢層が同居できる住宅の建設。そして、町にゆかりのある方々を対象にした公共の「合葬墓」の建立を行いました。

また、平成24年度から推進している、第4次農業基盤整備を着実に進め、農業粗生産額も120億円を超えることができた。町内の橋りょう補修や南7線道路をはじめとする道路整備。昨年7月の集中豪雨で被災した紅葉川、豊坂川、協成川は国や北海道の支援をいただき、順次復旧工事が進められています。昨年10月には訓子府インターチェンジから小別別インターチェンジまで供用が開始された十勝オホ

1ツク自動車道ですが、訓子府町の行政区間16・8kmを横断し、農産物をはじめとする物流や地域住民の生活道路として広く利用されています。

乳幼児から就学前の子どもを対象とした「わくわく園」、児童の放課後の生活を豊かに過ごすための「ゆめゆめ館」などの施設の充実や初診料を除く医療費の無料化などが功を奏し、子育て世帯などが増えることにより平成28年の人口減少率は、オホーツク管内町村で最も少ない町になりました。

空き家バンクに登録した住宅改修資金補助のほか、店舗改装などに最高300万円を補助する制度を設け、着実に成果をあげてきております。さて、今年の7月には本町を会場に「第23回全国小さくても輝

く自治体フォーラム」が開催されます。全国に向け、本町をアピールしてまいります。今後も町民の声を傾け、町内外から受けた刺激、知恵や知識を生かしながら、これまでの取り組みをさらに一歩進め、まちの主役である町民一人一人が自立し、お互いに少しずつ支え合い、助け合う中でそれが必要としていることに向き合いながら「ちよつといいね!」と思えるようなことを積み重ね、「たくさんの元氣」につなげていこうと思っています。

今年も訓子府町は「町民こそが主役」すべての町民にやさしいまちづくり」を目標に、町民の皆さんの参加とお力添えをいただきながら、理想の町づくりへまい進してまいります。